

多文化共生ひろば

問合せ 秘書広報課 多文化共生・交流係
(☎ 27-8240)

このコーナーでは、宇佐市の外国人住民や支援者、市の取り組みなどについてご紹介します。みんなが暮らしやすい多文化共生社会を作るためにまずは知ることから始めませんか。

私は日本に来て2年以上になります。仕事は溶接です。日本での最初の配属先は山梨県でした。3カ月が経った後に大分県に移ることになり、宇佐市にきました。今の会社には外国人も日本人も友達がたくさんいて、みんな良い人ばかりです。私が会話の内容を理解できないときは、理解できるまで根気強く教えてくれました。日本語が下手なので不安になることもありますが、上手に話せるようになるために全力を尽くします。そして、今の会社で私は新たな知識と経験を得ることができました。

日本はいつでもどこにいても美しく快適だと感じるので、とても興味があります。文化、お祭り、そして人々はとてもすてきです。この美しい国、日本にもっと長く滞在できればと思っています。

名前 フィヤン ドゥウィ チャーヨ **Fiyan Dwi Cahyo さん**
国籍 **インドネシア**



お便りをくれた方



心も体も
地域も元気に！

食育レシピ
recipe

爽やかな香り広がる ゆずドレッシング

\ check! /



問合せ / 健康課 健康増進係 (☎ 27-8137)

院内中央公民館では、郷土に伝わる四季折々の季節料理を伝えるため「味の伝承講座」を実施しています。今回は講座のおすすめレシピとして、院内の特産品であるゆずをふんだんに使い、爽やかな香りを生かしたドレッシングをご紹介します。



ゆずドレッシング

材料（6人分）

・ゆず 2個

A

・濃口しょうゆ 大さじ2

・砂糖 大さじ2/3

・塩 ひとつまみ

・コショウ 少々

・オリーブ油 大さじ2



【1】ゆずの皮を薄くむいて千切りにする（量はお好みで）。

【2】ゆずを横半分に切って果汁を搾る（ゆず1個につき、果汁大さじ1程度が目安）。

【3】ボウルにA、1、2を入れてよく混ぜ合わせる。

※果汁の量を増やして、濃口しょうゆを減らすと減塩できます。

☆サラダにかけるだけでなく、鶏肉に絡めて焼いたり、パスタにあえたりするのもおすすめです。市ホームページでは、他のレシピも紹介しています。

市長コラム

小藩分立 その4

宇佐市長 是永修治

これまで宇佐市の小藩分立の歴史を見てきましたが、享保2（1717）年、奥平氏が入った以降は落ち着き、中津藩奥平氏、島原藩豊州領、宇佐神宮領、幕府領、時枝領の一藩四領体制が幕末まで続きました。加えて荒木村、山下村、今井村、宇佐村などは、複数の領主が分割統治する「相給^{あいさつ}」でした。例えば、荒木村では収穫高や人数を均等配分のうえ、幕府領と時枝領とに分割統治されました。人数分

けでは幕府領を希望する百姓が多く、くじ引きで決定されました。

以上のように、宇佐市では一藩四領＋相給という複雑な支配構造が長年続いたことにより、知らず知らずのうちに「地域性が強く、まとまりにくい体質」が培われたものと思います。このような小藩分立は、大分県も

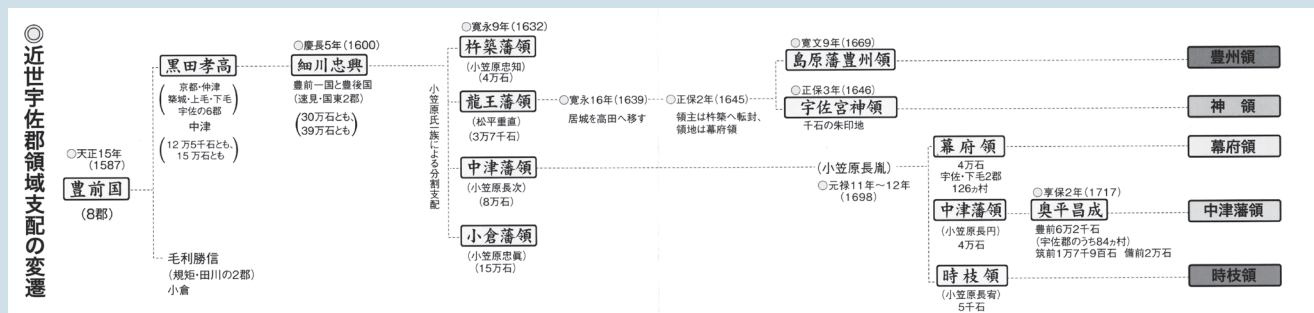
同様で「まとまりの悪い県」の要因といわれています。元大分県知事の平松守彦氏は、この状況を逆手にとって一村一品運動を提唱、地域ごとに自慢できるモノや文化を競わせ、トータルとして大分県のまちおこしに成功したのでした。

現在の宇佐市域は、豊前八郡の一つである宇佐郡とほぼ同じ領域です。江戸時代の小藩分立に振り回される必要はありませんが、一村一品運動の精神と同様に、地域で培われた個性を大事にしつつ、宇佐市が本来持っている歴史・文化・自然など、豊かなアイデンティティー（自己同一性）をしっかりと持つことが宇佐市発展のポイントだと私は考えます。

もっと詳しく！市長コラム

今回の市長コラム小藩分立のシリーズを通して使用した「近世宇佐郡領域支配の変遷（変遷図）」です。

変遷図



『新・宇佐ふるさとの歴史』付属資料 参照

この変遷図は、江戸時代の宇佐郡の藩主や領地の変遷を示しています。

